



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

コード番号 9304 URL <https://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大隅 毅

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員財務部長 (氏名) 星 正俊 TEL 03-5646-7235

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	16,105	△4.4	884	△9.3	1,079	△8.3	836	6.4
2020年3月期第1四半期	16,841	4.2	974	7.6	1,176	11.7	785	12.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,312百万円 (84.5%) 2020年3月期第1四半期 711百万円 (131.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	55.00	—
2020年3月期第1四半期	51.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	98,397	45,435	45.2	2,927.86
2020年3月期	98,994	44,512	44.0	2,861.73

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 44,517百万円 2020年3月期 43,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	33,100	△2.9	1,800	△20.8	1,950	△20.3	1,300	△21.4	85.50
通期	66,700	△0.2	3,700	△5.3	4,000	△4.2	2,700	△4.1	177.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	15,217,747株	2020年3月期	15,217,747株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	12,993株	2020年3月期	12,993株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	15,204,754株	2020年3月期1Q	15,204,822株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により輸出入が大きく減少したほか、国内においては緊急事態宣言の発令により、社会経済活動が停滞し、個人消費の落ち込みや雇用情勢が悪化するなど、極めて厳しい状況で推移しました。

緊急事態宣言の解除に伴い、個人消費に若干の持ち直しの動きがみられるものの、物流業界では消費材や生産材の荷動きは低調に推移し、自動車関連分野などの輸出入貨物も減少するなど、先行きは一段と不透明な状況となりました。他方、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率は若干上昇したものの、賃料相場は僅かながら上昇傾向で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、日用品、飲料、EC関連商品の流通加工や出荷など、社会インフラとしての物流事業の継続に努めるとともに、費用の削減や業務の効率化により業績の確保に注力してまいりました。また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守および改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上や安定的な収益基盤の維持に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は、物流事業において新設拠点の稼働に加え、EC関連業務などが好調に推移したことによる倉庫業務の増加や、航空貨物の取扱増加があり、不動産事業は引き続き堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の停滞に伴い、消費材を中心とした陸上運送業務や、自動車関連部品などの港湾運送業務が低調に推移したことにより、前年同期比7億3千5百万円(4.4%)減の161億5百万円となり、営業利益は、同9千万円(9.3%)減の8億8千4百万円、経常利益は、同9千7百万円(8.3%)減の10億7千9百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより、同5千万円(6.4%)増の8億3千6百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、新設拠点の稼働に加え、EC関連業務や高付加価値業務などが好調に推移したことで、日用品、飲料の保管や荷役の取扱が増加したことにより、営業収益は前年同期比2億9千8百万円(8.2%)増の39億2千1百万円となりました。

港湾運送業務は、船内荷役業務や自動車関連部品の輸入荷捌業務が減少したことにより、営業収益は前年同期比7千9百万円(5.0%)減の15億1千8百万円となりました。

陸上運送業務は、新型コロナウイルスの感染拡大による社会経済活動の停滞に伴い、飲料や工業材料の輸配送業務や、引越業務が減少したことにより、営業収益は前年同期比10億7千1百万円(12.5%)減の75億5百万円となりました。

国際輸送業務は、輸出入海上貨物や香港、ベトナムにおける海外現地法人の取扱いは減少したものの、緊急対応などで輸出航空貨物の取扱が増加したことにより、営業収益は前年同期比6千7百万円(6.0%)増の11億9千2百万円となりました。

その他の物流業務は、物流施設賃貸業務が増加したことにより、営業収益は前年同期比3千4百万円(7.1%)増の5億2千3百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比7億5千万円(4.9%)減の146億6千万円となりました。営業費用は、取扱減少に伴う作業費の減少により、前年同期比5億7千万円(3.9%)減の140億9千8百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比1億8千万円(24.3%)減の5億6千2百万円となりました。

② 不動産事業

一部施設の不動産付帯収入が減少したものの、ビル管理業務の取扱が増加し、営業収益は前年同期比1千8百万円(1.3%)増の14億8千1百万円となりました。営業費用は、LED化や緊急事態宣言の発令に伴う光熱動力費、修繕費などが減少し、前年同期比2千7百万円(3.8%)減の7億1千2百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比4千6百万円(6.4%)増の7億6千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、借入金の約定返済による現金及び預金の減少および有形・無形固定資産の減価償却による減少等により、前連結会計年度末に比べ5億9千7百万円減少し、983億9千7百万円となりました。

負債については、借入金の約定返済が進んだことや未払法人税等の支払い等により、前連結会計年度末に比べ15億2千万円減少し、529億6千1百万円となりました。

また、純資産については、配当金の支払い等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ9億2千3百万円増加し、454億3千5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より1.2ポイント増加し、45.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの増加があったものの、財務活動によるキャッシュ・フローの減少により、全体で4億6千3百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、129億6千7百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払いがあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により、3億9千9百万円の増加（前年同四半期比7億8百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が定期預金の預入による支出を上回ったことおよび投資有価証券の売却による収入により、4億2千2百万円の増加（前年同四半期比26億4千2百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済や配当金の支払いにより、12億8千4百万円の減少（前年同四半期比3億7千万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期の連結業績は概ね期初予想に沿ったところで推移しておりますので、2020年5月12日に公表した第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,002	11,540
受取手形及び取引先未収金	12,187	11,875
有価証券	3,500	3,000
その他	2,280	2,788
貸倒引当金	△9	△2
流動資産合計	29,961	29,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,902	32,486
土地	17,858	17,858
その他(純額)	1,883	1,909
有形固定資産合計	52,645	52,254
無形固定資産	1,679	1,603
投資その他の資産		
投資有価証券	12,553	13,157
その他	2,143	2,171
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	14,655	15,288
固定資産合計	68,980	69,146
繰延資産	52	49
資産合計	98,994	98,397

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,148	4,734
短期借入金	5,634	10,650
未払法人税等	855	381
引当金	670	307
その他	3,875	4,337
流動負債合計	16,184	20,412
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	20,717	14,810
長期預り金	4,708	4,678
退職給付に係る負債	2,474	2,475
その他	397	585
固定負債合計	38,297	32,549
負債合計	54,482	52,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,700	5,795
利益剰余金	27,753	28,206
自己株式	△23	△23
株主資本合計	41,277	41,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,747	3,228
為替換算調整勘定	△450	△486
退職給付に係る調整累計額	△62	△49
その他の包括利益累計額合計	2,234	2,691
非支配株主持分	1,000	918
純資産合計	44,512	45,435
負債純資産合計	98,994	98,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益		
倉庫保管料	2,020	2,263
倉庫荷役料	1,602	1,658
荷捌料	2,811	2,743
陸上運送料	8,573	7,501
物流施設賃貸料	336	416
不動産賃貸料	1,434	1,449
その他	63	73
営業収益合計	16,841	16,105
営業原価		
作業費	10,619	9,937
賃借料	922	910
人件費	892	922
減価償却費	654	736
その他	1,877	1,871
営業原価合計	14,966	14,378
営業総利益	1,875	1,726
販売費及び一般管理費	900	842
営業利益	974	884
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	212	215
持分法による投資利益	2	0
その他	37	25
営業外収益合計	265	254
営業外費用		
支払利息	42	34
その他	20	25
営業外費用合計	62	59
経常利益	1,176	1,079
特別利益		
投資有価証券売却益	—	170
特別利益合計	—	170
税金等調整前四半期純利益	1,176	1,250
法人税等	378	400
四半期純利益	797	849
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	785	836

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	797	849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	481
為替換算調整勘定	△3	△9
退職給付に係る調整額	11	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△21
その他の包括利益合計	△86	462
四半期包括利益	711	1,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	701	1,293
非支配株主に係る四半期包括利益	9	19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,176	1,250
減価償却費	714	781
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28	1
受取利息及び受取配当金	△224	△229
支払利息	42	34
持分法による投資損益(△は益)	△2	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△166
固定資産売却損益(△は益)	△2	1
固定資産除却損	1	2
売上債権の増減額(△は増加)	△867	310
仕入債務の増減額(△は減少)	△159	△412
その他	△620	△535
小計	83	1,029
利息及び配当金の受取額	238	250
利息の支払額	△48	△48
法人税等の支払額	△582	△831
営業活動によるキャッシュ・フロー	△308	399
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,524	△1,024
定期預金の払戻による収入	1,499	1,516
有形固定資産の取得による支出	△2,129	△234
有形固定資産の売却による収入	10	4
無形固定資産の取得による支出	△86	△49
投資有価証券の取得による支出	△4	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	15	212
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,219	422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	78	△13
長期借入れによる収入	—	700
長期借入金の返済による支出	△602	△1,577
配当金の支払額	△349	△380
非支配株主への配当金の支払額	△32	△3
リース債務の返済による支出	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△914	△1,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,444	△463
現金及び現金同等物の期首残高	13,826	13,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,382	12,967

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りおよび当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	15,407	1,434	16,841	—	16,841
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4	29	33	(33)	—
計	15,411	1,463	16,875	(33)	16,841
セグメント利益	742	723	1,465	(491)	974

(注1) セグメント利益の調整額△491百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	14,656	1,449	16,105	—	16,105
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4	32	36	(36)	—
計	14,660	1,481	16,142	(36)	16,105
セグメント利益	562	769	1,331	(447)	884

(注1) セグメント利益の調整額△447百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。